

ま 建 発 第 145 号
平成 20 年 10 月 9 日

国土交通省道路局長 殿

まんのう町長 栗田 隆義



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

我々末端である市町の行政は、直接住民接点であり、日々生活していく上での心配ごと、悩みなどを提言される窓口であります。

都市等に暮らしている方には、想像もつかない事がたくさんあると思われます。まだまだ地方では社会基盤の整備が必要であり、生活必需品を求め商店街へ行くのも公共交通が整備されていないため、マイカーなどを利用するしか手段がありません。また、災害時のライフライン整備にも、道路の新設・改良工事が絶対条件であります。

さらに、いつ発生してもおかしくない南海地震を考えると、すばやい対応をしていないとパニックに陥ることとなるかもしれません。

これらのことを考えると、我が町にとっては、道路整備は最重要課題であります。国、県、地方が一体となり、早急な整備ができるよう、予算の確保、及び整備条件の緩和をお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状 ①国道 32 号線の早期バイパス全線開通と四車線化（特に土器川橋の四車線化の着工）。 ②法面及び植樹帯の維持管理の対応が遅い（草の種子がおちてから処置している）。 ③我が町内における急峻なカーブの改良、県管理の国道 37 号と 438 号右折レーンのない交差点の早期改良工事と自転車、歩行者道の未整備区間の改修工事（特に旧琴南町、旧満濃町との町境付近と長炭小学校付近の整備）。	○課題 ①設置箇所により自歩道整備は 3.5m から 2.5m にしてはどうか。 ②自歩道へ法面等の草などが繁って自転車、歩行者の方へ影響が出ている箇所が見られるので早めの対応が良い、年に最低 2 回は清掃が必要と思われる。 ③地元の協力体制 町も国・県と一緒に、関係地権者等への協力を積極的に推進していくので、できる箇所から施工してほしい。
--	---

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

香川県まんのう町

四国四県を結ぶ高速道路整備に伴い、高速道路からのアクセス道路整備として国道 319 号線善通寺インターから国道 32 号線までの 4 車線化、また、国道 32 号線の 4 車線化及び徳島県境までの局部改修等の整備をすることにより、地域相互間の情報、物、人等の交流が活性化するとともに地域内の産業、農業、林野等あらゆる面での促進を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	路線名：町道五毛線	五毛自治会は人口 40 人程度で少子高齢化が特に進んでいるのが現状である中、生活の基盤となる唯一の町道は幅員が狭く、普通乗用車 1 台がやっと通行できる状態であった。また、近隣には国営公園もあり、通行量が増加しており非常に危険な状況であった。 しかし、平成 13 年度から平成 18 年度の国庫補助事業（臨交金）で整備した結果、地元はもとより、町内外からの訪問者の通行もスムーズとなったことから国営公園の利用者も増加し、地元も活性化している。	